

関係各位殿

2004年6月

大分県国鉄闘争に連帯する会
代表世話人 江藤 匡一・橋本 忠雄
朝生 忠行

大野地区平和運動センター
議長 森迫 信夫

国鉄闘争支援夏季物販のお願い

立夏の頃、皆様方におかれましては益々ご清栄のことと拝察いたします。また、常日頃のご活躍に心より敬意を表します。

国鉄闘争は、昨年12月6日に最高裁判所が「JRに不当労働責任は及ばない」とする、判決を確定しました。しかし、裁判長他1名が「JRに責任あり」と主張し3対2の少数否決という、きわどい判決になりました。この間の、国鉄闘争を巡る混乱（四党合意）がなければと、悔やまれます。

しかし、昨年1月29日に283名の闘争団と遺族が、鉄建公団を相手取り訴訟をおこしました。これまで13回の口頭弁論が開かれ、当時の清算事業団が、いかにいい加減な再就職斡旋作業をしていたのかを余すところなく立証しています。この裁判で原告団の裁判費用（印紙代約3000万円の免除）が「訴訟救助」という形で認められました。鉄建公団訴訟の位置づけは、国鉄改革によって発生した採用差別事件の責任を『国』『JR』『鉄建公団』に対して等しく追求していく新たな「国家賠償」の闘いです。

18年も苦しみ闘ってきた闘争団とその家族を、政府・JR・司法は、誰も責任をとらずに葬り去ろうとしています。

私たちは、人生を賭け真剣に生きてきた仲間を見殺すわけには行きません。闘いを決意した闘争団の仲間と連帯し闘うことは、今後、予想がされる「公務員改革」「市町村合併」「郵政民営化」等、国鉄改革を上回る雇用破壊が予想されます。しっかり国鉄闘争と連帯することは、労働者の未来を守ることと確信します。

つきましては、この闘いと闘い続ける闘争団の運動と生活の一助になればと思い、夏季の物販を取り組みたいと考えます。出費多難のこととは思いますがご理解、ご協力いただくことを心よりお願い申し上げる次第です。

夏期物販・讃岐うどん注文書

【商品・価格】	讃岐うどん1個 1000円		
【取り扱い】	大分県国鉄闘争に連帯する会 0974-22-4706 FAX兼用 矢田090-1920-7016 赤峰090-8831-3104		
【口座名】	大分県国鉄闘争に連帯する会		
【口座番号】	九州労金大分支店 4074322 郵便 記号17240 番号7662121		
申し込み団体（個人）		お届け先住所	
申し込み個数		電話番号	

